

## 09 知ること・知らせること 作文（一般）

5 (ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。今日は私、こはまもとこが作文を一部省略して朗読します。

相模原障がい者施設殺傷事件のことを思い出すと今でも胸が痛くなり、涙が止まらない。

10 私には自閉症の姉がいる。痛い、トイレなど、必要最小限の意思表示はできるが会話はできない。生活するにも介助が必要だ。

15 一昔前と比べると障がい者理解が求められる風潮になっていると感じる。しかし、それと合わせて皆様の理解が進んでいるかは不明だ。私の身近で起こった例を二つ挙げよう。一つ目は、私の職場でのことだ。バスを使って目的地まで行くお願いをしていたのだが、自閉症の子がいる人は、その子のこだわりでバス以外の方法でなければ来られなかった。私はよくあることだと思っただが、理解ができず、受け入れられない人もいた。

20 二つ目は、姉の障がい者手帳の更新のために母が居住地の役所に行った時のことだ。本人確認のため、福祉課の窓口で姉と面接をしなければならぬ、と横柄な態度で言われたらしい。今までは、姉がパニックを起こさないように慣れた場所で、なおかつ人目につかない個室で現状確認をしていた。姉

25

の障がいに応じて配慮してくださっていたのだ。姉のことで色んな経験をしている母だが、今回の対応に怒りと悲しみを感じていたことは確かだ。

30

いずれの例も、障がい者への理解が進んでいるとは言いきい。相手がどんな人かを知らうとせず、一般的な配慮にかけていると思う。その理由として障がい者に対する理解の深め方を知らないことが想像される。

35

そういう時は、例えば障がい者を題材にしたドラマやマンガや小説など、たくさん媒体に接して少しでも関心を持って欲しい。そしてできれば、当事者の話を聞いて欲しい。一方、私のように障がい者が身近にいる人も、折に触れて障がい者に対する正しい理解を社会にアピールしてもらいたい。冷たい視線を恐れずに発信して、互いの人権を尊重していける世界をみんなで作りに上げていくことが出来たらいいと思う。

40

その一歩として、私がこの作文を書いた。今後もし、私にできることがあるはずだとサポートしたい。

45

(ナレーター) いかがでしたか。障がい者に対する理解の大切さを私たちに教えてくれる作文でしたね。